




1. 安全のために

① 初めに





このログ・スプリッタは薪を割るために設計されたものです。ログ・スプリッタを他の目的のために絶対に使用しないでください。薪割り以外の目的のために使用されますと怪我をすることがあります。



② 基本的注意

- 
- A ログ・スプリッタを二人以上の人が操作するのは絶対に避けてください。ほとんどの事故は二人以上の人がログ・スプリッタを運転しているときに起こります。他の人が薪をのせているときは、その人が装置から離れるまで絶対にコントロール・レバーを操作しないでください。
- 
- B ログ・スプリッタは子供には絶対に操作させないでください。正しい取扱方法を知らない人には絶対にログ・スプリッタを操作させないでください。
- C ログ・スプリッタの使用中は運転をする人のみが装置のそばにるようにしてください。その他の人は少なくとも5m以上は離れてください。
- D アルコールや医薬品を服用したとき、または体調が悪いときは、ログ・スプリッタを絶対に操作しないでください。
- E 雨天の屋外や地面の濡れている場所では絶対使用しないで下さい。
- F 必ずアースしてご使用下さい。
- G 圧力調整は絶対しないで下さい。故障や事故の原因になります。
- H 本機は50Hz仕様、60Hz仕様があります、必ず仕様地域の周波数をご確認ください。

③ 正しい服装と保護具について

- 
- A 機械の作動している部分に巻き込まれたりする危険のあるゆるい衣服や装身具は絶対に身につけないでください。
- 
- B 頭部を保護するヘルメットなどを必ず被り、機械の作動している部分に毛髪を近づけないでください。
- C 目を保護するためのゴーグルなどを必ずつけてください。
- D つま先が鋼鉄製の靴やブーツを必ずはいてください。
- E 手首の部分にたるみがなく、ひものついていない手袋を必ずつけてください。

④ 作業場の準備

- 
- A ログ・スプリッタは滑りやすい場所や濡れた場所、またはぬかるみや凍った地面の上では絶対に運転しないでください。作業場には足場のしっかりした水平の場所を選んでください。
- 
- B ログ・スプリッタは十分に明るい場所で使用してください。

⑤ ログ・スプリッタの点検



- A 毎回使用する前に必ずログ・スプリッタの点検を行ってください。すべてのナット、ボルト、締め付けねじがきちんと締められていることを必ず確認してください。油圧オイルタンクが規定量満たされていることを必ず確認して下さい。
- B 修理が必要なときや機械の調子が悪いときは、絶対にログ・スプリッタを運転しないでください。
- C 電源コードが破損している場合、本機を使用しないで下さい。
- D ログ・スプリッタを絶対に改造しないでください。改造を加えるとログ・スプリッタが安全ではなくなる可能性があります。無断で改造された機械に対しては一切の保証はいたしません
- E コントロール・レバーには絶対にロープや延長部分を取り付けたり、ウェッジ（刃）の幅を広くしたり、高さを高くしたりしないでください。このような改造を加えると、ログ・スプリッタが安全ではなくなる可能性があります。
- F 使用した後は毎回必ず装置を掃除してください。保管は横、又は立てて保管できません。

⑥ 油圧装置の点検



- A 本機に油もれを発見した時は使用しないで下さい。ログ・スプリッタ内では非常に高圧の油圧圧力が発生します。圧力のかかった油圧オイルが小さな穴を通して飛び出すと、失明など重大事故に至るおそれがあります。
- B 油圧装置の部品を交換する前には、モーターを停止して油圧を逃がしてください。
- C バルブの圧力設定値を調整しないでください。これらの圧力設定値はメーカーによってあらかじめ設定されています。調整には専用工具とテスターが必要です。
- D 自分の手で漏れを点検しないでください。漏れはダンボール紙や木片を近付けることにより確認できます。飛び出したオイルによって怪我をした場合はただちに医師に診てもらってください。すみやかに適切な医療処置が施されないと病原菌の感染や悪性の反応が起こる可能性があります。
- E 油圧タンク内の油圧オイルが少ない時は、ログ・スプリッタを絶対に運転しないでください。

⑦ 安全な運転の手順



- A 手や足、または身体のどの部分も機械の作動している部分には絶対に近付けないでください。シリンダーが作動している間は、手や足、または身体のどの部分も薪と刃の間に近付けないでください。
- B 絶対に二本の薪を同時に削ろうとしないでください。一本の薪の上に別の薪を置いたり、二本の薪を連続して置いて割らないでください。
- C 衣服や毛髪、手や足、または身体のどの部分も機械の作動している部分には絶対に近付けないでください。
- D 絶対にログ・スプリッタをまたいだり、飛び越えようとしてしないでください。
- E シリンダーが作動中は、ログ・スプリッタに薪をのせようとしてしないでください。



- F コントロール・レバーを操作するときは必ず手で行ってください。足や、ロープや延長用の道具などでは絶対に操作しないでください。
- G 薪にできた裂け目には絶対に指を近付けないでください。裂け目が急に閉じると指や手をはさんだり、切断したりする恐れがあります。
- H ログ・スプリッターに薪をのせる際には、両手を薪の側面に置いてください。刃または底板と直接ふれる可能性のある薪の端には、絶対に手を置かないでください。
- I モーターの作動中には絶対にログ・スプリッターを移動しないでください。
- J 作業場には絶対に子供やペットを近付けないでください。作業場に監視されていない子供やペットがいる場合は運転を始めないでください。
- K モーターの作動中は絶対ログ・スプリッターから離れないでください。短時間離れる場合でも、モーターを停止してください。
- L モーターの作動中は絶対に機械の調整をしたり、締め付けねじを締めたり、オイルの量やホースを調べたりしようとししないでください。
- M 割ろうとする薪がログ・スプリッターの上にきちんとおとせあり、コントロール・レバーを操作するときに薪を支える必要がないことを必ず確認してください。
- N 割ろうとする薪が、まったく支えることなくログ・スプリッターの上にきちんとおとるように、セットして下さい。
- O 薪は必ず木目に沿って、あるいは薪の切断面のある端から端にかけて縦方向に割るようにしてください。絶対に木目に逆らって割ろうとしないでください。